

# KANA GAWA ARTS PRESSES

4 & 5 2014

神奈川芸術プレス Vol.117

五大路子

CREATOR'S  
VOICE 136

CREATOR'S VOICE 136

## 五大 路子

KAAT × 五大路子

『ニッポニアニッポン ～横浜・長谷川伸・瞼の母～』に主演

KAAT 神奈川芸術劇場

『イン・ザ・ハイツ』、Noism 『カルメン』、白井晃演出 『Lost Memory Theatre』

街道でたどるエリア紹介 ～県西エリア～

一緒に。～神奈川県立音楽堂「日本の音でお正月!」～

表紙撮影：福里幸夫

奇数月15日発行 [隔月刊]

体の中に染み込んだ長谷川伸の世界。  
ハマっ子女優がK A A Tと初コラボ。  
まな板の鯉？ いえいえ：  
まな板の上で飛び跳ねます！



——五大さんはこれまで、長谷川伸の作品を繰り返し演じてこられました。特別な思い出があると思いますが、長谷川作品との出会いはいつ頃のことでしょうか。

初めて演じたのは新国劇でした。『雪の渡り鳥』のお市、『臉の母』のお登世、『関の弥太っぺ』のお小夜、『一本刀土俵入』のお蔭、数々の女性に出会わせていただきました。でも、長谷川伸先生の作品との「出会い」というと、実はもっと前なんです。幼稚園のとき、よく祖母に連れられて近所の温泉に行きました。そこでお芝居もやっていて、それが長谷川伸の作品だったと思うんです。何度も見るうち、お芝居の音やリズムとともに、その世界が体に染み込んでいって…。その後、演劇を目指し、桐朋学園在学中、竹内敏晴率いる「劇衆・椿」の秋浜悟史作『冬眠まんざい』で初舞台を踏みました。この舞台は、昨年、女優40周年記念で下北沢の「劇小劇場」で坂手洋二・演出 坂本長利・共演で復活上演したんですが、その時、一人芝居『ある市井の徒／長谷川伸の世界』も同時上演しました。その後、早稲田小劇場（現SCOT）へ。岩波ホール『トロイアの女達』にクロスその1で出演し、終演後、演出家の鈴木忠志さんに「どこかで修業してから、また戻ってこい」といわれ、そうだ、お腹の底からキューンとなる私の中の長谷川伸を探してみようと新国劇の門を叩いたのです。そして入団1年後、歌舞伎座で「大菩薩峠」のお松に抜擢され、大劇場の舞台に出演するようになったのです。——順調に俳優生活を送っていた五大さんですが、病に倒れられたことがありました。一番苦しいとき、恩師の言葉に心を動かされたそうですね。

30代後半のころでした。帝劇に出演するために稽古

していたある日、右足に激痛が走り、足が曲がったままになってしまったんです。病院に行きましたが原因不明…。決まっていた役もレギュラー番組も全て降板しなければならず、いきなりシャッターがどーんと降りて真っ暗闇に放り込まれたような気分でした。でも、毎日泣いている私を見た高校時代の恩師が、「そんなことでいなくなる五大路子だったら、今この瞬間に消えろ」と怒鳴ってくれたんです。そのまま松葉杖を持たされ、闘病生活を送っていた鎌倉の診療所の裏山に連れていかれました。先生は、足元にある小さな山野草を指さしながら、一つ一つ名前を覚えてくれたんですね。こんな花にも名前はあって、みんな「己の花を咲かせている」と。ハツとしました。私が休んでも金太郎飴のように、次から次へと代役が出てくる。自分は何なんだろう…。私自身の中から言葉を発したい、そんな思いが強くなりました。

——闘病生活を終え、最初の舞台で演じられたのが、長谷川伸の作品でした。手作り、手弁当で築き上げた舞台でした。

19年前です。「私にしか咲かせられない花」は何かと考えたときに、最初に浮かんだのが、幼少のころから体に染み込んでいた長谷川伸の世界だったんです。弱い者に目を向け、守ろうとするまなざしは、私の心をとらえ、「自発は私の財産」「生きている事は価値を生み出し続けているんだよ」この2つの言葉に導かれ、まず一人の単位から発信しようと思ったのです。そこで知り合いの演出家や美容師、高校時代の演劇部の仲間を手伝ってもらい、衣装さんは、新宿コマで働いていた方なんです。1カ月も休んだ上に、一番大事にしていた半襟をたくさん提供

してくださいました。「私も一生に一度、夢つてもものを見たかった」と。本当にうれしいことでした。

——以来、五大さんは生まれ育った横浜にこだわり、演劇活動に身を投じていくようになります。多くのボランティアとともに五大さんが率いてきた「横浜夢座」は今年で15周年。かつて横浜の街に生きた伝説的な白塗りの娼婦・メリーさんをモデルにした『横浜ローザ』は来年で20年目に達します。ほかにも、野毛の老舗居酒屋「武蔵屋」や、山本周五郎、渡辺はま子、映画撮影所など横浜のさまざまな「顔」を題材にしてきました。こだわりの原点は何ですか。

私が命をもらい、生きている横浜に「磁力」「磁場」を感じるんです。それに惹かれて、定点観測をしているような感覚でしょうか。横浜から世界に発信するという夢もあり、来年は『横浜ローザ』のニューヨーク公演を目指しています。一つの原点は、高校生のころに出会った野口三千三さんという体操の先生（「野口体操」で一世を風靡した方）に言われたことです。生きることに迷いや不安を抱えていた当時、「あなたの足の裏は、お尻は、世界でたった一つしかない。あなたというもののの中に価値を求めなさい。徹底的に自分の中で大切にしている何かにこだわり続けなさい」と。それが長谷川伸であり、メリーさんであり、この街に埋もれていった市井の夢追い人たちの魂なのです。それはまさに「私に磁力を放つ」神奈川・横浜への郷愁でもあるのです。

——どんなときに、次の作品のアイデアを考えるのでしょうか。

考えるというよりも、私の中に「起こる」という感覚で

# 五大路子 女優

KAAT×五大路子 Y155 参加事業

『ニッポニアニッポン ～横浜・長谷川伸・瞼の母～』

5月30日(金)～6月8日(日)

KAAT 神奈川芸術劇場・大スタジオ

脚本：齋藤雅文

演出：松本修

出演：五大路子 他

全席指定 5,500円(5/30プレビュー公演のみ 5,000円) 発売中

※U24チケット、高校生以下割引あり(詳細はHPかお問合せ)

インターネット予約(24時間対応)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ ☎0570-015-415(10時～18時)

## KAAT×五大路子 『ニッポニアニッポン ～横浜・長谷川伸・瞼の母～』に主演

生まれ育った横浜に根ざし、演劇活動を続けてきた俳優・五大路子が、

初めてKAATの舞台に立つ。題材は、開港時代の横浜に育ち、

『瞼の母』『一本刀土俵入り』などで知られる長谷川伸。

五大自身にとって、俳優の原点を築いた作家だ。これまで自ら企画した作品が多かった五大は、

KAATというフラスコの中での「化学反応」に期待を込める。

す。『野毛武蔵屋』をやろうと思ったのは、夕日を見ていたとき。夕日が私にささやいたんです(笑)。変わっているでしょう。そういう女優が一人いてもいいじゃないか、と思っています。

—作品を手がけるときは、まずご自身で資料を探し、読み込み、ゆかりのある場所や人物の取材を欠かしません。ただ演じるわけではないのですね。

生きている人の息づかいとか、肌触りとか、その人の発した言葉の音声を聞きに行くというか。それが肉になったり血になったり、核心になったりするんです。今回の作品に際しても、横浜に暮らしていらっしゃる長谷川伸の子孫を訪ね、往時について伺いました。生き別れになった伸と再会したお母さんは、前掛けを持つ手がぶるぶる震えていたそうです。そういう、訪ねなければ分からない「断片」を集めてこそ、作品に近づけるような気がします。

—思いがけない出会いも数々、経験されたそうですね。

以前、港北区の横浜ラポールで『ある市井の徒／長谷川伸の世界』を演じたとき、お声を掛けたわけでもないのに、伸のご親族が大勢集まってくれたんです。それ以後、『横浜ローザ』も「横浜夢座」の公演にも来てくださっています。—さて、初めてのKAAT、しかも脚本の齋藤雅文さん、演出の松本修さんと組むのも初めてです。どんな舞台を目指していますか。

今までずっと自分でやってきましたから、初めての三人が出会ってどうなるのか、怖くもあります。でも「化学反応」を起こしながら、愛する長谷川伸の心を上演できたらと思います。今までこだわり続けてきた長谷川伸を壊すことも汚すこともなく、今に生きる長谷川伸として蘇らせたい。

五大路子という女優を「料理」してもらおうような気持ちもあり、楽しみですね。

—まな板に載せられている感覚でしょうか。

そうですね。でも、まな板に載っても私は多分跳ね続けるでしょう。ただでは切られません(笑)

取材・文：齋藤大起(神奈川新聞 文化部記者)／撮影：福里幸夫

### わたしの神奈川

海を借景にした横浜の大さん橋ホールが大好きで、いつか港をバックに演じてみたいと思っていました。2009年、その夢が叶いました。横浜開港150周年を記念した舞台「エンドレス・ドリーム ヨコハマの夜明け」です。

新しい作品に挑む前など、心機一転したいときには横浜港に足を運び、海を見ながら歩きます。訪ねるのはいつも早朝です。夜と朝の境目、全てが始まる瞬間の空気が大好きですね。

悩んでいるときは、横浜ランドマークタワーのような高いビルに上って、ゆっくりとお茶を飲みます。大きく広がる海を見下ろすと、「ああ、自分は小っちゃいな」と思えて、気が楽になるんです。

長谷川伸も、開港当時の横浜で生まれました。伸がラーメンを好んで食べたお店が、今も中華街にあるんですよ。当時の暮らしが、今も横浜には息づいています。伸は家が没落して学校に通えず、横浜港で働いていたこともあります。今、同じ場所に立って、同じ空、同じ海を眺めながら「伸は何を考えていたんだろう」と想像を巡らせます。



ごだい みちこ

横浜市出身。桐朋学園演劇科を卒業後、早稲田小劇場を経て新国劇へ。NHK朝のテレビ小説「いちばん星」でテレビの主役デビュー。退団後も多数のテレビや舞台に出演して現在に至る。

一人芝居「横浜ローザ」で横浜文化奨励賞受賞。「横浜夢座」座長として、活躍中。

『失われた時を求めて』で平成11年度日本民間放送連盟の賞を受賞。

平成20年、第29回松尾芸能賞優秀賞を受賞。平成23年、長谷川伸賞を受賞。平成24年横浜文化賞受賞。

## 『イン・ザ・ハイツ』待望の日本版上演

21世紀の新世代ミュージカルとして大いに話題になり、来日公演も実現した『イン・ザ・ハイツ』。ついに日本人キャストによる日本版が上演されることになった。

本作は、ニューヨーク・マンハッタン最北端、中南米系移民が多く住む街“ワシントン・ハイツ”が舞台。下町の人情味溢れるラティノーたち3世代が登場する。2007年にオフ・ブロードウェイで初演され、08年にブロードウェイに進出。同年、トニー賞の作品賞、楽曲賞、振付賞、編曲賞と4部門を受賞。09年にはグラミー賞最優秀ミュージカルアルバム賞を受賞しており、大変人気が高い。

中南米系移民の“ラティノー”と言ってもプエルトリコ、キューバ、ドミニカ、チリとルーツは多様。3世にはサルサがフィットしても、おばあちゃんにはオールド・キューバン・サウンド、ドミニカ出身者にはメレンゲやバチャータが故郷の音楽、もちろんアフリカ系アメリカ人はバックにR&Bやヒップホップが流れる。音楽に細かな配慮がなされ、ダンス・シーンも惜しみなく盛り込まれている。さらに画期的なのは、ヒップホップのカリスマ・KREVA(クレバ)が、初めてミュージカル用の歌詞を手がけること。原曲にマッチした歌詞が作品オリジナルの感性を生かしている。ヒスパニック・コミュニティのリアルな日常を垣間見ることができる刺激的な作品だ。

## 設立10周年記念の新作 Noism1×Noism2 劇的舞踊『カルメン』

演出振付家、舞踊家の金森穰率いるダンス・カンパニーNoism1とNoism2の合同公演がKAATで行われる。

KAATでの公演は4回目、作品としては5作目となり、「首都圏での上演はKAATで」ということが定着してきている。今回の題材は「カルメン」、コンテンポラリーダンスに馴染みのない方にこそ強力におすすみたい公演だ。

2004年、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館に金森穰が芸術監督として迎えられた。金森は日本初のレジデンシャル・ダンス・カンパニー(劇場専属舞踊団)となるNoismを立ち上げ、以来、りゅーとびあを拠点とし、国内はもちろん、海外7カ国10都市にて公演を成功させている。14年に設立10周年を迎え、現在でも日本で唯一の劇場専属カンパニーであり、金森穰振付・演出のオリジナル作品は、発表するたびにダンス・シーンを湧かせる話題作となっている。

09年にプロを目指す若手のダンサーからなる研修生のカンパニーNoism2を立ち上げ、それによりNosimはNoism1と改称した。今回は、この2つのカンパニーのメンバー21名によるスケールの大きな合同公演となる。

彼らのパフォーマンスを目にすると、まずその体のラインの美しさ、身体能力の高さに圧倒される。バレエ・ダンサーともちがう無駄のないしなやかで強靱な肉体は、金森作品の世界観を表現するために訓練し進化した肉体であり、まるで別の生き物のように想像をはるかに超えた動きを見せてくれるのだ。

「劇的舞踊」と冠する作品は『 Hofmann物語』に次ぐ二作目。『劇的舞踊』シリーズは、毎回刺激的なコンセプト、テーマを掲げた金森作品群とは趣が異なる。なにより「物語」が存在するので普遍性が生まれるのだ。P.メリメの原作、オペラの台本を元にオリジナルの脚本が作られるが、物語、すなわちストーリーのおかげで一気に舞台が身近に感じられるようになる。音楽はビゼーのオペラ『カルメン』のオーケストラ版と多くの作曲家による組曲版から構成、

Noism独自の『カルメン』を創出する。

特に注目したいのがカンパニーのミストレスでもある井関佐和子。作品ごとにこれが彼女のベストでは、と思わせるほど素晴らしいパフォーマンスを毎回見せてくれる。金森にとってのディーヴァである井関がファム・ファタール、カルメンをどう表現するのか、いつにも増してこの公演は楽しみだ。

## 白井晃のアーティストック・スーパーバイザー就任 第一作『Lost Memory Theatre』

2011年1月に開館したKAAT神奈川芸術劇場。現代演劇、ミュージカル、ダンス、古典など多岐にわたる分野でユニークな活動をしている。この劇場が、4月より新たなクリエイションを展開する。演出家、俳優の白井晃をアーティストック・スーパーバイザー(芸術参与)として迎え入れるのだ。8月にはその白井晃演出によるKAATプロデュース公演第一弾、『Lost Memory Theatre』の上演が決定した。

『Lost Memory Theatre』というタイトルは、音楽家・三宅純が昨年発表したアルバムのタイトルからとられている。白井がこのアルバムに触発され、その音楽から想起される世界観を舞台化しようというのだ。

白井と三宅はこれまでも『三文オペラ』(07年)、『ジャンヌ・ダルク』(10年)、『天守物語』(11年)、『ヴォイツェク』(13年)、そして『9 Days Queen』(14年)などでタッグを組んでいる。

三宅はジャズ・トランペッターとして活動を開始、数多くのCM音楽を手がけていた時期もあった。その他、ピナ・バウシュ、フィリップ・ドックフレ、ロバート・ウィルソンらによるコンテンポラリー・ダンス作品への楽曲提供も多い。

## KAAT神奈川芸術劇場 主催公演

『イン・ザ・ハイツ』、劇的舞踊『カルメン』、  
『Lost Memory Theatre』

KAAT神奈川芸術劇場で上演される注目の3作品をご紹介します。

『イン・ザ・ハイツ』はニューヨークのヒスパニック・コミュニティを描いたブロードウェイミュージカルで、待望の日本版。

劇的舞踊『カルメン』は、新潟を拠点に世界で活躍するカンパニー、Noismの新作。首都圏では横浜、KAATのみの上演だ。

『Lost Memory Theatre』は白井晃のアーティストック・スーパーバイザー就任第一作で、熱い期待が寄せられている。



ブロードウェイミュージカル『イン・ザ・ハイツ』



劇的舞踊『ホフマン物語』(2010年 演出振付:金森稜) 撮影:篠山紀信



『Lost Memory Theatre』 構成・演出:白井晃



『Lost Memory Theatre』 原案・音楽:三宅純



三宅純CDアルバム  
『Lost Memory Theatre act-1』  
P-VINE RECORDS PCD-26056 ¥2,600(税抜)  
参加ミュージシャン:三宅純、デヴィッド・バーン、アート・リンゼイ、  
ピーター・シェラー、ニナ・ハーゲン、  
ブルガリアン・ヴォイス 他多数  
ライナーノーツ:ヴィム・ヴェンダース(邦訳付)

ヴィム・ヴェンダース監督作品『ピナ／踊り続けるいのち』でも彼の作品が使用された。独特の世界観、美的センスがジャンルを超えて多くのクリエイターたちを魅了している。アルバム『Lost Memory Theatre act-1』ではヴィム・ヴェンダースがコメントを寄せ、アート・リンゼイ、デヴィッド・バーンなどが参加しており、名実共に世界の音楽シーンの第一線を走り続けているミュージシャンだ。

そんな三宅の音世界を舞台化することにした白井の『Lost Memory Theatre』のコンセプトは、「劇場」。モチーフはさまざまな記憶で満たされ、日常とは異質な時間が流れる劇場。そこに俳優、ダンサー、歌手、ミュージシャン、観客が集う。舞台ではセリフ劇だけでなくダンスがあり、生演奏も行われるのだ。音楽劇でも、オペラでもない、実際に体験した人にしかわからないパフォーマンス・アーツが繰り広げられる。白井&三宅のコラボレーションによる、未知の新しいアートを体験してみたいと思っている人も多いことだろう。決して具体的な言葉では言い表せない、二人に共通する高感度でそれは美しい世界がこの舞台作品で現実のものとなる。三宅はミュージシャンとしても参加し、演奏するそうで、これは絶対に見逃せない。

文 結城美穂子

KAAT神奈川芸術劇場 主催公演  
<http://www.kaat.jp/>

ブロードウェイミュージカル  
『イン・ザ・ハイツ』

5月10日(土)～11日(日)

KAAT神奈川芸術劇場・ホール

作:リン・マニユエル・ミランダ

演出・振付:TETSUHARU 翻訳・訳詞:吉川徹

歌詞:KREVA 音楽監督:岩崎廉

出演:松下優也、Micro(from Def Tech)、

梅田彩佳(AKB48)、大塚千弘、中河内雅貴、

大野幸人、植原卓也、エリアンナ、安崎 求、

樹里咲穂、マルシア、前田美波里 他

発売中

Noism設立10周年記念  
Noism1×Noism2 合同公演  
劇的舞踊『カルメン』

6月20日(金)～22日(日)

KAAT神奈川芸術劇場・ホール

演出振付:金森稜

衣裳:Eatable of Many Orders

音楽:G.ビゼー(カルメン)オーケストラ版&組曲版  
&交響曲版より編曲

出演:Noism1 & Noism2、

奥野晃士(SPAC・静岡県舞台芸術センター)

発売日:KAme3/15 一般3/29

KAAT神奈川芸術劇場プロデュース  
白井晃演出 第一弾

『Lost Memory Theatre』

8月21日(木)～31日(日)

KAAT神奈川芸術劇場・ホール(舞台上特設ステージ)

原案・音楽:三宅純 構成・演出:白井晃

振付:森山開次

出演:山本耕史、美波、森山開次、白井晃、江波杏子

演奏:三宅純 他

発売日:5月予定

## 神奈川 まちのプロデューサー ⑥

神奈川県立生命の星・地球博物館 館長  
齋藤 靖二氏

ジオパークとは、地球科学的に重要な自然の遺産を含む「大地の公園」の意味。箱根町は、2012年に日本ジオパークに認定されました。「箱根ジオパーク構想」の協力者で、地質学者でもある齋藤靖二氏に、箱根の魅力についてうかがいました。

地球環境の豊かさ、動植物の多様性を支えているのが「地面の多様性(ジオダイバーシティ)」。その大切さをもっと考えませんか、という提案が「ジオパーク構想」です。地域活性化、観光開発が目的と思われがちですが、主導したユネスコによると、このプログラムの目的は教育です。次世代や箱根を訪れる人々に、自然の恵みにあらためて目を向けてもらうとともに、それを支える地面の防災がいかに大切か、伝えることを主眼としています。

箱根は、日本の歴史を語るうえでも重要な場所です。東西を結ぶ東海道は、通してみるとほとんど平地で、遮るものは箱根の山だけ。秀吉が全国制覇するまで東西の支配者が分かれていたのは、箱根越えが

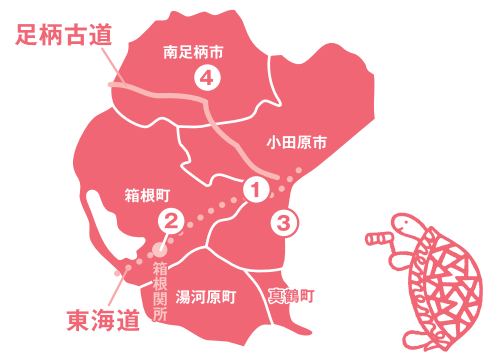
ネックだったと言えます。

その秀吉が小田原征伐の際、石垣山に造った一夜城に使われたのが箱根火山の石でした。城を造った穴太衆(あのはしゅう)という滋賀県の石屋の集団に調べさせた結果、「ねばっこくて壊れにくい、いい石」として白羽の矢が立ったのです。箱根の石は、昔から職人の目で確かめられてきたブランドなのです。江戸城や皇居にも箱根の石が使われています。

私が神奈川と関わりを持つようになったのはこの博物館に来てからですが、それ以前から「文化政策に見識のある県」というイメージを持っていました。教育や文化芸術には、地方自治体が責任を持つことが不可欠だと信じていますので、今後もその姿勢を崩さずにはほしいと思っています。

「箱根ジオパーク」の主役も住民のみなさんです。自然科学的にも歴史的にもこれだけ価値のある箱根の魅力を、みなさんの手でプライドをもって守り継いでいっていただきたい。それをサポートするのが、われわれ博物館の仕事だと思っています。





## 街道でたどるエリア紹介

### 県西〔東海道・足柄古道編〕



箱根関所 京口御門 写真提供:箱根関所

最終回は「県西エリア」です。この地域には、東海道最大の難所であると共に、「入り鉄砲と出女」(西から江戸へと向かう鉄砲と、江戸方面から西へ向かう女性)を厳しく監視する箱根関所が置かれていました。「箱根八里」と呼ばれる箱根越えは、その峻険な地形のためほぼ一日の行程になりますので、その東側の出発点となる東海道の小田原宿は、旅人の宿泊地として、また県内随一の城下町として繁栄していました。

この他、東海道の裏道として、南足柄市の関本から矢倉沢関所を経て、足柄峠を越えて御殿場へ至る足柄古道もありました。

監修:齊藤 司(横浜市歴史博物館)

### 1 県立 生命の星・地球博物館

46億年にわたる地球の歴史と生命の営みを展示した自然史博物館。常設展に加えて、4月19日(土)～5月25日(日)は、「学芸員の活動報告展」が開催されます。

開館時間:9:00～16:30(入館は16:00まで) 休館日:月曜日(祝日・振休の場合は翌平日)、館内整備日(毎月第2火曜日、1月・2月の毎週火曜日、祝日の翌日)、8月は無休。活動報告展は無料。常設展は別途観覧料あり。

お問合せ:☎0465-21-1515

### 2 成川美術館

3月14日(金)～6月17日(火) 3本の企画展を開催。

「平松礼二 時空を超えた独創の美 モネへのオマージュ」

「毛利武彦～都会風景～」

「日本画の煌めき～富士を中心とした収蔵名作展」

開館時間:9:00～17:00 無休 入館料:一般1,200円、大学・高校生900円、中学・小学生600円ほか お問合せ:☎0460-83-6828

### 3 小田原城

15世紀中頃に大森氏が築いた山城が前身。その後、戦国大名小田原北条氏の居城となってから関東支配の拠点として拡張され、豊臣秀吉の小田原攻めに備えて城の規模は最大に達しました。明治3(1870)年の廃城を経て、昭和35(1960)年、小田原市市制20周年の記念事業として天守閣が復興。標高約60メートルの最上階からは相模湾が一望でき、「小田原市のシンボル」として市民に親しまれています。小田原城址公園を中心に、3月下旬から4月上旬には「小田原桜まつり」が、5月3日には「小田原北條五代祭り」が行われます。 お問合せ:☎0465-23-1373

### 4 大雄山最乗寺

大雄山最乗寺は、曹洞宗に属し、全国に4,000余りの門流を持つ寺です。御本尊は釈迦牟尼仏(しゃかむにぶつ)、脇侍仏(わきじぶつ)として文殊、普賢の両菩薩を奉安し、日夜、国土安穏万民富楽を祈るとともに、真人打出の修行専門道場でもあります。自然折々の豊かな自然でも知られ、春ははだれ桜や藤、ツツジなどが大雄山を彩ります。毎月第2・4日曜日には「日曜参禅会」が、毎月第2・4土曜日には「仏像を彫る教室」が行われています。

お問合せ:☎0465-74-3121

## その他の県内文化情報

### 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会 会場:横浜みなとみらいホール

第298回 4月18日(金)19:00開演  
川瀬賢太郎常任指揮者就任披露  
指揮:川瀬賢太郎 ピアノ:伊藤恵  
シューマン/ピアノ協奏曲 プラームス/交響曲第1番 他

第299回 5月16日(金)19:00開演  
指揮:現田茂夫 ヴァイオリン:崎谷直人(第1コンサートマスター)  
團伊玖磨/交響組曲「アラビア紀行」 モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第4番 ドヴォルザーク/交響曲第7番

各回 S6,000円 A4,500円 B3,000円

お問合せ:神奈川フィル・チケットサービス  
☎045-226-5107(平日10:00～18:00)  
<http://www.kanaphil.or.jp/>



川瀬賢太郎  
©井村龍人

### 県立神奈川近代文学館

特別展  
「生誕105年 太宰治展 一語りかける言葉」

読者に語りかける独特な文体で現代にも多くのファンを持ち、代表作「斜陽」をはじめ神奈川にゆかりの作品を持つ作家・太宰治(1909～1948)の生涯を辿る特別展。

4月5日(土)～5月25日(日) 第2,3展示室  
※月曜休館(5/5は開館)

一般700円 65歳以上・20歳未満・学生300円  
高校生100円 中学生以下無料

神奈川県横浜市中区山手町110  
(みなとみらい線「元町・中華街駅」6番出口徒歩10分)  
☎045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>



撮影:渡辺好孝

### 神奈川県県民局くらし県民部文化課

平成26年度神奈川県文化芸術活動団体  
事業補助金等の募集 ※提出締切:4月9日(水)まで

広く県民の皆さんを対象とした文化芸術に関する公演、展示、コンサート、ワークショップ等に対して、公募方式による助成を実施します。

県庁本庁舎大会議場短編演劇集  
4月12日(土)15:00～、13日(日)12:00～/15:30～  
一般3,000円、高校生以下1,500円

出前マガカル劇場として短編演劇の公演と関係者のアフタートークを開催。

詳細は次の県文化課ホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.kanagawa.jp/div/0204/>  
お問合せ:文化課文化事業グループ ☎045-210-3808

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員 法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング / 株式会社浅岡装飾 / アサヒビール株式会社 / 株式会社アサヒファシリテイス / アズビル株式会社 / 学校法人岩崎学園 / 株式会社ヴォートル / 有限会社エス・イー・オー  
株式会社エス・シー・アライアンス / 株式会社NHKアート / 株式会社オーチャー / 株式会社勝烈庵 / 公益財団法人神奈川県結核予防会 / 神奈川県信用保証協会 / 神奈川県民共済生活協同組合 / 株式会社神奈川孔文社 / 株式会社神奈川保健事業社  
神谷コーポレーション株式会社 / カヤバシステム マシナリー株式会社 / 川本工業株式会社 / かをり商事株式会社 / 株式会社共栄社 / 株式会社キョウエイ装備 / 株式会社KSP / 株式会社合同通信 / コブキシーティング株式会社 / 株式会社さがが美  
株式会社ジェイムアンドカンパニー / 株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局 / 鈴鹿かまぼこ株式会社 / 生活協同組合バルシステム神奈川ゆめコープ / 生活協同組合ユーコープ / 生活クラブ生活協同組合  
株式会社清光社 / 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ / 月島機械株式会社 / 株式会社テレビ神奈川 / 株式会社東急エージェンシー / 東工株式会社 / 東神工芸株式会社 / ナイス株式会社 / 奈良建設株式会社 / 株式会社日建設計  
日産自動車株式会社 / 日生商工株式会社 / 株式会社野毛印刷社 / パナソニック ESエンジニアリング株式会社 / 株式会社日立システムズ / 平安堂薬局 / 株式会社ホテル、ニューグランド / 一般社団法人本牧関連産業振興協会 / 丸茂電機株式会社  
三沢電機株式会社 / 森平舞台機構株式会社 / ヤマハサウンドシステム株式会社 / 株式会社有隣堂 / 株式会社豊商會 / 株式会社ユニコーン / 株式会社横浜アーチスト / 横浜エレベーター株式会社 / 横浜新都市センター株式会社 / 横浜信用金庫  
株式会社横浜ステーションビル / 横浜ビルシステム株式会社 永年個人賛助会員 江田眞子 / 川村恒明 個人賛助会員 大島正博 / 岡田博子 / 金子祐子 / 黒瀬博晴 / 本田正男 / 三角京子 / 三角秀行  
協賛・協力 能舞台協賛 ナイス株式会社 音楽堂施設協賛 コブキシーティング株式会社 協力 神奈川総合設備株式会社 / 神奈川トヨタ自動車株式会社 / 崎陽軒 / 鈴鹿かまぼこ株式会社 / 株式会社東芝 首都圏南支社 / 株式会社野毛印刷社  
野村證券株式会社横浜支店 / 株式会社富士住建 / 三菱地所株式会社 (匿名:1社、1名) (敬称略 2014年2月4日現在)

賛助会員募集のご案内 公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員の制度を設立し、広くみなさまのお力添えをいただいております。お問合せ:公益財団法人神奈川芸術文化財団 広報営業課 ☎045-633-3760



恒例、新年1月の神奈川県立音楽堂ニューイヤー・コンサート。今年は「日本の音でお正月!」。本誌12・1月号の表紙を飾った狂言師・茂山千三郎さんたちによる狂言、そして日本舞踊、お囃子、箏など、日本の音によるにぎやかで楽しい会になりました。初笑いを満喫したお客様の声をご紹介します。

**音楽堂ニューイヤー・コンサート  
「日本の音でお正月! 京の和み・江戸の粋」**

出演:茂山あきら、茂山千三郎、茂山宗彦、茂山逸平ほか(狂言)  
一噌幸弘(笛)ほか(能楽囃子) 西陽子(箏) 弧の会(日本舞踊) 若獅子会(囃子)  
1月18日(土) 神奈川県立音楽堂



日本舞踊群舞とお囃子の競演「初春勢舞踊囃子」(弧の会、若獅子会)

3点とも撮影:青柳聡



ホワイエにぎやかにした大和市の「福田神社囃子獅子舞」



室町歌謡組曲より「起き上がり小法師」(茂山千五郎家)

「開館60周年を迎える年に、音楽堂でのニューイヤー・コンサートを見ることができ、年の初めの幸せを感じる一日でした。福田神社の獅子舞の音色に昔の行事を思い出し、開演前から日本のお正月にふさわしく、また観客とのなごやかな合いの手など、楽しい時をすごしました」(60代女性)

「狂言の声の響きが良いので、改めてこのホールが優れていることを感じました。弧の会、若獅子会の舞台が素晴らしい」(70代男性)

「弧の会、本当に和の“エグザイル”でした。キレが良い!! 初めて見たので感動でした。共演のお囃子もとても良かった。今年は本当に良い年になりそうな気がします。ありがとう」

「お正月らしい音の中で、久しぶりに寛げました。伝統芸能の中へ新しいものを取り入れていくのは難しい事と思いますが、それぞれの方の進化を楽しみにしています」

「若い人たちによる、新しいものを創り上げながらも、伝統がきちんと伝わる演奏、表現、和の心は本当に素晴らしい」(50代女性)

**ミュージカル『ザ・オダサク』  
愛と青春のデカダンス**

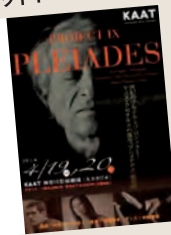
“オダサク”の愛称で親しまれ「夫婦善哉」で有名な、大阪の作家・織田作之助の半生を描いた青春ドラマ。

4月19日(土)~4月29日(火・祝)  
KAAT神奈川芸術劇場・ホール  
全席指定  
S席10,000円 A席6,000円  
B席4,000円  
作:金秀吉 脚色演出:錦織一清  
音楽:岸田敏志  
出演:内博貴 他

**PROJECT IX  
「PLEIADES(プレイアデス)」**

クセナキス伝説の傑作「プレイアデス」を劇場版へ再構築した世紀のプロジェクト!

4月19日(土)・20日(日)  
KAAT神奈川芸術劇場・大スタジオ  
全席自由  
一般6,000円 学生以下3,000円  
振付・演出:ルカ・ベグッティ  
音楽:加藤訓子(パーカッション)  
ダンス:中村恩恵



**ブロードウェイミュージカル  
「イン・ザ・ハイツ」**

NYに暮らすラテン系移民3世代の物語。これぞ21世紀のミュージカル!

5月10日(土)~11日(日)  
KAAT神奈川芸術劇場・ホール  
全席指定  
S席9,500円  
A席7,500円  
出演:松下優也、  
Micro(from Def Tech)、  
梅田彩佳(AKB48)、大塚千弘 他



**もっと、もっとアート。**

**イザベル・ファウスト&  
アレクサンドル・メルニコフ**

いま最も輝くヴァイオリン奏者、イザベル・ファウスト。開館60周年の音楽堂に登場です。

6月27日(金)  
神奈川県立音楽堂  
全席指定  
一般6,000円  
シルバー(65歳以上)売切  
学生(24歳以下)3,000円  
出演:イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)  
アレクサンドル・メルニコフ(ピアノ)



©Felix Broede

**速報!!**

**神奈川県民ホール出張公演 in 小田原  
アンサンブル・リリ リサイタル**

この夏、小田原での県民ホール出張公演が決定!  
ワンコイン! 休憩なし、約1時間親子向(小学生以上)のコンサート。

7月21日(月・祝)  
小田原市民会館・小ホール  
全席指定 500円  
4月発売予定  
出演:アンサンブル・リリ



**県民ホール特別合唱団参加者募集!!  
神奈川県民ホール リニューアル&開館40周年記念  
マラー:交響曲第8番「千人の交響曲」**

10月5日(日)  
神奈川県民ホール・大ホール  
指揮:現田茂夫  
出演:横山恵子、並河寿美、菅英三子、竹本節子、  
小野和歌子、水口聡、宮本益光、ジョン・ハオ、  
神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 他  
全席指定 S席7,000円~C席3,000円 他  
発売日:KAme5/10(土) 一般5/17(土)



指揮:現田茂夫 ©三浦興一

※合唱参加者募集!!詳しくは神奈川県民ホールのホームページをご覧ください。

チケットのお求めは

インターネットチケット予約(24時間受付)  
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 0570-015-415(電話10:00~18:00)  
(芸術劇場窓口10:00~18:00 / 音楽堂窓口13:00~17:00休)

**編集後記**

- 新聞取材で当財団芸術総監督の作曲家・一柳慧氏と原鉄道模型博物館に行きました。模型レイアウトを前に、欧米での生活経験も豊かな氏の各国鉄道文化への考察に深い感銘を受けました。(k)
- 五大路子さんのお話を伺って海が見たくなり、大さん橋の先端まで行ってみました。屋上には森日出夫さんによる撮影ポイントの案内もあり、これからの季節、とてもお勧めです。(あ)
- 2月の大雪の日に県民ホールで打ち合わせ。その4日後、仕事で行ったお台場で河津桜が開花していて大変驚きました。こんな大雪の年でも木々はしっかり春をつかまえていました。(ゆ)



**KAAT神奈川芸術劇場** ☎0570-015-415(チケットかながわ) <http://www.kaat.jp/>

**ブロードウェイミュージカル**

**『アダムス・ファミリー』**

5月4日(日・祝)～5日(月・祝)

ブラックな笑いとゴシックなテイストに溢れた、映画でお馴染み「アダムス・ファミリー」がミュージカルになって、日本初登場!

演出:白井晃

出演:橋本さとし 真琴つばさ 昆夏美 柳下大 菅原永二 澤魁士 玉沢威穂/菊池銀河(ダブルキャスト) 友近 鷲尾真知子 今井清隆 他

**横浜美術館**

☎045-221-0300 <http://www.yaf.or.jp/yma/>

**「開館25周年記念 魅惑のニッポン木版画」**

開催中～5月25日(日) ※会期中一部展示替えあり  
幕末から現代までの約1,600点の木版画を所蔵する横浜美術館の収蔵品のなかから、現代作家による新作も加えた約220件を通じて、各時代の木版画表現の粋を紹介する展覧会です。5月5日(月・祝)には、親子向け創作&鑑賞ワークショップ「木版画を摺ってみよう!」も予定されています。

観覧料:一般1,100円、大学・高校生700円、中学生400円、小学生以下無料 ※3/29は観覧無料

開館時間:10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館:木曜日



棟方志功《華狩図》 1954(昭和29年) 木版 130.0×158.0cm 日本民藝館蔵

**横浜開港資料館**

☎045-201-2100 <http://www.kaikou.city.yokohama.jp/>

**「蚕のせしめ金貨なり…」—明治大正の生糸産地と横浜**

4月19日(土)～7月13日(日) ※3/31まで工事中のため休館

日本の近代製糸業の発展を支えた横浜の役割と、横浜の生糸市場へ自らの生糸を売ろうとする生産者側の多様な活動を明らかにし、量産と高品質化をともに実現した日本製糸業のイノベーションを資料で紹介いたします。

開館時間:9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館:月曜日(祝日の場合は翌日)ほか

入館料:一般200円、小中学生100円



産糸業の結社・郡山製絲組の生糸商標 明治17(1884)年 横浜開港資料館蔵



(横浜市在住カメラマン)

森日出夫さんの写真でめぐる「私だけが知ってる横浜」。

**横浜情景**

フランス山は、幕末から明治にかけてフランス軍が駐屯していた場所です。1971(昭和46)年、横浜市がフランス政府から購入、公園として整備。今から10年ほど前の再整備によって、発掘された貴重な史跡を、散策路をたどりながら楽しめる公園として再オープンしました。写真中央奥のフランス領事官邸跡は、1896(明治29)年に完成した建物が関東大震災で倒壊した後、スイス建築家マックス・ヒンデルによって再建されたものの1947(昭和22)年に焼失した領事官邸の遺構です。



MAGCUL.NET 神奈川県発、文化発信ポータルサイト、マガカルドット ネット

KAME KANAGAWA members 登録無料!メルマガ定期配信

県内のアート情報はここで探そう! <http://www.kanagawa-at.info/> 「かな@」で県内のアート情報を検索できます。

**富士住建**



家族で音楽の話をしよう

**常識を変えた注文住宅。**

予算の都合上、設備のグレードを下げなくてはならない...  
こんなことは、させません!なぜなら富士住建の「完全フル装備の家」は標準仕様の設定がハイグレード!  
さらに、カーテン、照明、エアコン、床暖房までもが標準装備なので、引越してすぐ住めます!

詳しくはショールームで確認ください。1都6県に18のショールームがあります。

富士住建 検索

太陽光発電も全棟標準装備だよ!



横浜 ☎0120-51-2210 鎌倉 ☎0120-2210-56 相模原 ☎0120-46-2210 小田原 ☎0120-68-2210  
神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷1-13-9 神奈川県鎌倉市台3-6-11 神奈川県相模原市中央区矢部2-17-21 神奈川県小田原市下堀39-1

注文住宅 完全フル装備の家®